

令和3年度本部事業報告

法人本部では、民間企業や教育機関、県行政及び市町村等に対し、有料での手話通訳者等派遣事業、講師等派遣事業を行ったが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、大幅に申請件数が減少となった。令和3年度の派遣人数はコロナ以前の令和元年度の7割ほど回復した。

また、神奈川県委託事業の神奈川県盲ろう者支援センター運営事業は、盲ろう者通訳・介助員派遣、盲ろう者通訳・介助員養成講習会、現任研修会、相談事業を行った。養成講習会と現任研修会は一部オンラインでの実施を導入し、参集型の際は感染予防対策を講じ開催した。

遠隔手話通訳サービス事業は、県機関と新型コロナウイルスの検査・診察に加え、令和3年度より、県内65の警察署に2次元バーコード（QRコード）配備した。

その他、相模原市および横須賀市からの委託事業として手話通訳者養成事業等を行った。

1 令和3年度の特徴と課題

(1) 神奈川県盲ろう者支援センター運営事業について

令和元年度より開始した相談事業は、相談窓口を神奈川県聴覚障害者福祉センター（藤沢市）内と神奈川県横浜西合同庁舎（横浜市西区）内の2箇所に設置している。横浜西合同庁舎は、予約に合わせて相談員が赴く運用であったが、令和3年10月から、毎月第1水曜日、第3水曜日の9時～11時を定期的に開所することとした。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、盲ろう者通訳・介助員派遣事業では、健康維持及び生活に不可欠な内容以外での利用自粛や、可能な範囲で短時間利用を要請した。また、盲ろう者相談事業では、定期的な訪問など緊急性のないものは実施を見送るなどの対応を行った。本来であればニーズの掘り起こしを含めて、盲ろう者及び家族や施設等への支援などを実施し相談事業の拡充に努めたかったが、新型コロナウイルス感染状況により控えざるを得なかった。

盲ろう者通訳・介助員養成講習会は、昨年度は実施を見送ったが、新型コロナウイルスワクチン接種拡大もあり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施した。一部の講習をオンライン受講とするとともに、会場ではソーシャルディスタンスの確保、フェイスシールド着用、アルコール消毒液の配布などの対策を行った。

盲ろう者通訳・介助員現任研修会も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、3回の研修、全てをオンライン形式で実施した。

(2) 相模原市、横須賀市からの事業委託

障害者総合支援法に定める意思疎通支援事業で、政令指定都市および中核市におい

て手話通訳者養成が必須事業化されたため、相模原市と横須賀市から養成事業の委託を受けて継続した。また、相模原市から要約筆記者認定試験、横須賀市からパソコン要約筆記者の養成の委託を受けた。

2 意思疎通支援者の派遣等の事業

(1) 市町村意思疎通支援事業への対応

聴覚障がい者個人への手話通訳者派遣は市町村の必須事業であるが、登録者が少ないことなどの理由により、14市町から手話通訳者派遣申請があり対応した。派遣件数は昨年度対比で171.3%、派遣人数は昨年度対比で160.3%と大幅に増加したが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に減少したためであり、コロナ前の状況と比べると7割程度の状況。

要約筆記者については、11市から要約筆記派遣者申請があり対応した。派遣件数は昨年度対比で185.0%、派遣人数は昨年度対比で231.0%と新型コロナウイルス感染拡大の影響もあったが大幅な増加となった。

ア 手話通訳者派遣

(ア) 件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
相模原市	22件	32人
平塚市	66件	73人
鎌倉市	4件	5人
藤沢市	6件	7人
小田原市	7件	9人
厚木市	4件	4人
伊勢原市	18件	22人
座間市	9件	10人
綾瀬市	1件	2人
大磯町	3件	3人
二宮町	2件	3人
大井町	2件	2人
愛川町	27件	27人
箱根町	2件	3人
合計	173件	202人

(イ) キャンセル数

区 分	件数	人数
未手配及び調整中	1件	1人

手配済み	15 件	19 人
派遣者不足	0 件	0 人
計	16 件	20 人

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル 3 件、6 人

イ 要約筆記者派遣

(ア) 件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数			派遣人数		
	手書き	パソコン	計	手書き	パソコン	計
相模原市	2 件	6 件	8 件	3 人	13 人	16 人
平塚市	3 件	4 件	7 件	6 人	9 人	15 人
厚木市	0 件	1 件	1 件	0 人	1 人	1 人
綾瀬市	0 件	2 件	2 件	0 人	3 人	3 人
伊勢原市	8 件	0 件	8 件	8 人	0 人	8 人
秦野市	0 件	2 件	2 件	0 人	5 人	5 人
鎌倉市	0 件	3 件	3 件	0 人	8 人	8 人
大井町	1 件	0 件	1 件	2 人	0 人	2 人
海老名市	0 件	3 件	3 件	0 人	7 人	7 人
二宮町	1 件	0 件	1 件	1 人	0 人	1 人
小田原市	1 件	0 件	1 件	1 人	0 人	1 人
合計	16 件	21 件	37 件	21 人	46 人	67 人

(イ) キャンセル数

区 分	件数	人数
未手配及び調整中	1 件	2 人
手配済み	2 件	4 人
派遣者不足	0 件	0 人
計	3 件	6 人

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル 2 件、4 人

(2) 手話通訳者派遣

企業や公共団体等が実施する会議や行事等で、申請者が派遣費用を負担する場合に、手話通訳者を派遣した。令和 2 年 2 月から新型コロナウイルスの感染拡大により昨年度の派遣人数 48%と大幅な減少となったが、令和 3 年度は、昨年度対比で、派遣件数

は 182%、派遣人数は 179.8%と増加し例年の 7.5 割程度の回復となった。

また、感染予防対策を継続し申請者へは感染防止対策の確認のためのチェックシートの提出を依頼し、手話通訳者へは依頼書に安全確認チェックシートを同封するとともに現場でフェイスシールド、マスクの着用をお願いした。そのため、必要に応じて、フェイスシールド、透明マスク、不織布マスクを配付した。

ア 派遣件数・派遣人数実績

区 分		派遣件数	合計	派遣人数	合計
企 業 等	県センター	164 件	220 件	274 人	372 人
	川崎情文	56 件		98 人	
県 機 関	県センター	123 件	124 件	195 人	197 人
	川崎情文	1 件		2 人	
教 育 機 関	県センター	97 件	99 件	196 人	200 人
	川崎情文	2 件		4 人	
司 法 機 関	県センター	38 件	52 件	53 人	74 人
	川崎情文	14 件		21 人	
政 党 関 係	県センター	2 件	4 件	3 人	6 人
	川崎情文	2 件		3 人	
個 人	県センター	0 件	0 件	0 人	0 人
	川崎情文	0 件		0 人	
そ の 他	県センター	189 件	369 件	325 人	625 人
	川崎情文	180 件		300 人	
合 計	県センター	613 件	868 件	1046 人	1,474 人
	川崎情文	255 件		428 人	

イ キャンセル数

区 分		件数	合計	人数	合計
未手配及び調整中	県センター	4 件	31 件	7 人	53 人
	川崎情文	27 件		46 人	
手配済み	県センター	72 件	78 件	125 人	133 人
	川崎情文	6 件		8 人	
派遣者不足	県センター	0 件	0 件	0 人	0 人
	川崎情文	0 件		0 人	
計	県センター	76 件	109 件	132 人	186 人
	川崎情文	33 件		54 人	

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル
 県センター 34件、76人／川崎情文 8件、14人

ウ オンラインでの手話通訳派遣件数・人数

区分	派遣件数	合計	派遣人数	合計
県センター	305件	402件	448人	627人
川崎情文	97件		179人	

(3) 要約筆記者派遣

企業や教育機関および法人本部の事業や会議などに派遣を行っている。

コロナ禍の中で、参集型の講演や研修会への派遣依頼が減少しているため、派遣件数は伸びなかった。主催者側、要約筆記者側の工夫により、参集型での要約筆記も徐々にできるようになってきた。まだ申請を自粛している傾向があるため、回復への見通しが立ちにくい。遠隔での情報保障については、主催者の希望や要約筆記側の対応を考慮しながら、可能な限り対応している。

利用者及び要約筆記者の安全を守るために、引き続き主催者へは感染防止対策としてチェックシートの提出及び手指消毒薬の提供をお願いし、要約筆記者へはマスク・フェイスシールドの着用、手指消毒、および機材等の消毒をお願いした。そのため、必要に応じて不織布マスク・フェイスシールドを配付した。

令和3年度は、昨年度対比では、派遣件数は287%、派遣人数は242.1%と増加はしたが、コロナ前までの回復には至っていない。

ア 派遣件数・派遣人数実績

区分		派遣件数				派遣人数			
		手書き	パソコン	小計	合計	手書き	パソコン	小計	合計
企業等	県センター	1件	6件	7件	8件	2人	22人	24人	28人
	川崎情文	0件	1件	1件		0人	4人	4人	
県機関	県センター	0件	7件	7件	7件	0人	24人	24人	24人
	川崎情文	0件	0件	0件		0人	0人	0人	
教育機関	県センター	0件	36件	36件	37件	0人	90人	90人	94人
	川崎情文	0件	1件	1件		0人	4人	4人	
司法機関	県センター	1件	2件	3件	5件	2人	12人	14人	22人
	川崎情文	1件	1件	2件		2人	6人	8人	

政党関係	県センター	0件	0件	0件	3件	0人	0人	0人	3人
	川崎情文	3件	0件	3件		3人	0人	3人	
個人	県センター	0件	1件	1件	1件	0人	2人	2人	2人
	川崎情文	0件	0件	0件		0人	0人	0人	
その他	県センター	42件	11件	53件	71件	95人	46人	141人	178人
	川崎情文	14件	4件	18件		21人	16人	37人	
合計	県センター	44件	63件	107件	132件	99人	196人	295人	351人
	川崎情文	18件	7件	25件		26人	30人	56人	

イ キャンセル数

区分		件数	合計	人数	合計
未手配及び調整中	県センター	1件	10件	2人	30人
	川崎情文	9件		28人	
手配済み	県センター	6件	11件	20人	44人
	川崎情文	5件		24人	
派遣者不足	県センター	0件	0件	0人	0人
	川崎情文	0件		0人	
計	県センター	7件	21件	22人	74人
	川崎情文	14件		52人	

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル

県センター 1件、4人／川崎情文 4件、14人

ウ オンラインでの要約筆記者派遣件数・人数

区分	派遣件数				派遣人数			
	手書き	パソコン	小計	合計	手書き	パソコン	小計	合計
県センター	0件	13件	13件	17件	0人	40人	40人	56人
川崎情文	0件	4件	4件		0人	16人	16人	

(4) 講師等派遣

手話講習会や手話サークル、要約筆記サークルなど地域において聴覚障がいに関する理解を深める学習会などに講師等を派遣し、手話や要約筆記の普及、聴覚障がい者への理解の促進等により、聴覚障がい者が社会参加しやすい環境づくりを目指す事業である。

昨年度に引き続き大学の手話指導はオンライン授業で行われた。他の機関でもオンラインによる手話講習の実施が多く行われた。

令和2年2月から新型コロナウイルスの感染拡大により昨年度は73.2%と大幅な減少となった。令和3年度は手話講習会などの実施を見送る機関が多いことから申請数が減少したこと、実施を予定していたがまん延防止措置により中止を決定しキャンセルした機関があったため、派遣件数は昨年度対比で118.8%、派遣人数は昨年度対比で104%と微増となった。

ア 派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
企 業 等	2 件	2 人
県 機 関	4 件	10 人
市町村機関	18 件	33 人
教育機関	55 件	111 人
サークル	6 件	6 人
そ の 他	10 件	20 人
合 計	95 件	182 人

イ キャンセル数

区 分	件数	人数
未手配及び調整中	3 件	10 人
手配済み	12 件	32 人
派遣者不足	0 件	0 人
計	15 件	42 人

※全て新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル

(5) 盲ろう者通訳・介助員派遣

主に行政機関等が主催する会議や講演会等への派遣において、主催者である行政機関等が申請者となり盲ろう者通訳・介助員の派遣費用を負担する派遣事業を実施した。

派遣件数は昨年度対比で417.0%、派遣人数は昨年度対比で283.0%となった。

増加の要因は、市町村からの新型コロナワクチン接種に関する派遣申請による。

ア 派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
企 業 等	0 件	0 人
県 機 関	7 件	14 人
市 町 村	10 件	10 人
教育機関	0 件	0 人

司法機関	0件	0人
個人	0件	0人
その他	6件	7人
合計	23件	31人

イ キャンセル数

区分	件数	人数
未手配及び調整中	0件	0人
手配済み	2件	3人
派遣者不足	0件	0人
計	2件	3人

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル 0件、0人

3 神奈川県からの委託事業

(1) 神奈川県盲ろう者支援センター運営事業

事業内容は、神奈川県盲ろう者通訳・介助員派遣事業及び盲ろう者通訳・介助員養成研修事業及び盲ろう者通訳・介助員現任研修事業並びに盲ろう者相談事業。

ア 盲ろう者通訳・介助員派遣

県より業務委託を受け、視覚と聴覚の両方に障がいのある方（盲ろう者）にコミュニケーションの支援や外出時等の移動介助等を行う盲ろう者通訳・介助員を派遣する事業を実施した。

盲ろう者の社会参加には通訳・介助員の派遣が欠かせないが、新型コロナウイルス感染拡大やまん延防止措置、また度重なる措置期間の延長により生活に必要な場合を除いた外出の自粛をお願いせざるを得ない期間が続き、盲ろうの方にはご不便をおかけすることとなった。

派遣件数は、昨年度対比で 123%、派遣人数は昨年度対比で 124%となった。

盲ろう者と通訳・介助員へ新型コロナウイルス感染症の注意喚起等の情報発信を随時行ない、盲ろう者または通訳・介助員が感染した場合の感染経路が追えるよう、引き続き派遣中の行動履歴を確認する「新型コロナウイルス感染拡大に伴う確認書」と、通訳・介助員が派遣に出向く際、盲ろう者と通訳・介助員の健康を守り、安全な派遣が実施できるよう「新型コロナウイルス感染拡大防止と通訳・介助員の安全確保チェックシート」

を作成し、通訳・介助員への依頼書に同封した。

感染予防のため、引き続き 1 件の派遣につき 1 枚のマスク配付と、必要に応じてフェイスシールド等を配付し現場に応じて着用をお願いした。

触手話の技術を持つ通訳・介助員がなお不足していることに加え、派遣に出向くことによる新型コロナウイルスの感染の懸念や家族からの反対等により派遣を辞退する通訳・介助員が複数おり、派遣調整が困難な事例が生じている。本来会議等の通訳・介助員の派遣においては、必要に応じて 3 人派遣も検討したいところではあるが、令和元年度までは予算が限られていることから困難であった。

令和 2 年度以降今年度においても予算面では実施可能ではあったが、新型コロナウイルス感染防止のため会議等の会場の定員数が減少している状況の中、派遣人数を増やせば会場が密になることから実施には至っていない。

(ア) 登録者数

a 登録盲ろう者通訳・介助員数	399 人
b 登録盲ろう児者数	55 人

(イ) 派遣件数・派遣人数実績

区 分	派遣件数	派遣人数
公 的 機 関	40 件	45 人
医 療 機 関	452 件	454 人
会 議 等	139 件	279 人
冠 婚 葬 祭	2 件	4 人
大会・行事等	13 件	25 人
ゆりの会行事等	12 件	22 人
学 校 関 係	22 件	63 人
就 職 ・ 就 学 等	3 件	3 人
買 物	700 件	710 人
そ の 他	740 件	906 人
合 計	2,123 件	2,511 人

(ウ) キャンセル数

区 分	件数	人数
未手配及び調整中	60 件	75 人

手配済み	254 件	333 人
派遣者不足	30 件	33 人
計	344 人	441 人

※うち新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル 105 件、148 人

イ 盲ろう者通訳・介助員の養成

県より業務委託を受け、通訳・介助員を養成する事業を実施した。

盲ろう当事者から直接講義を受け、通訳・介助業務を間近で見聞きすることにより、盲ろう者についての知識や通訳・介助業務について理解が深まるため、本来であれば会場に参集して実施したいところだが、新型コロナウイルス感染予防と 4 度目のまん延防止等重点措置の期間延長により県と協議の結果、講習会の開始 1 か月間（4 回）をオンライン視聴による開催とした。また従来 30 人の受講定員数を 20 人に減らし、会場でのソーシャルディスタンスの確保と個々にアルコール消毒液を配付し適宜手指消毒をしながら実施した。

(ア) 回数 全 15 回（42 時間）

(イ) 日時 9 月 2 日（木）、9 日（木）、16 日（木）、30 日（木）
10 月 7 日（木）、14 日（木）、21 日（木）、28 日（木）
11 月 4 日（木）、11 日（木）、18 日（木）、25 日（木）
12 月 2 日（木）、9 日（木）、16 日（木）

(ウ) 会場 神奈川県聴覚障害者福祉センター、ダイエー藤沢店、小田急江ノ島線片瀬江ノ島駅等

(エ) 対象者 神奈川県内に在住・在勤・在学する、20 歳以上（申込時）
で、基本的に講習会全回の受講が可能な方。また、修了後は、通訳・介助員として登録し派遣を担える方。

(オ) 受講者数 18 人

(カ) 修了者数 17 人

ウ 盲ろう者通訳・介助員現任研修

県より業務委託を受け、通訳・介助員として必要な通訳技術、介助技術及び知識を習得することにより資質の向上を図る登録通訳・介助員の現任研修を実施した。

新型コロナウイルス感染症に伴う予算の関係から、当初は実施しない方針が県より示されたが、当事者団体の強い要望により実施となった。

特に不足している触手話の通訳技術向上のため参集による技術研修を実施したいところではあるが、引き続き新型コロナウイルス感染拡大予防対策により止む無くオンライン形式（ホームページからの視聴）として 3 回実施した。

参加者人数は、レポートの提出を以って参加とみなした。

研修参加の義務化について県に提案を続けた結果、令和4年度より年1回の受講が義務付けられることとなった。

(ア) 第1回

- a 配信期間 令和3年7月10日(土)～7月31日(土)
- b 内 容 「新型コロナワクチン接種」について
- c 講 師 神奈川県危機対策本部室ワクチンチーム
- d 参加人数 46人(オンデマンド視聴回数 150回)

(イ) 第2回

- a 配信期間 令和4年1月15日(土)～令和4年3月18日(金)
- b 内 容 「盲ろう児・者との関わりかたについて part2
～個々に応じた関わりかた～」
- c 協 力 者 大城 拓也 氏(神奈川県登録盲ろう児・者)
大城 敏子 氏(保護者)
- d 参加人数 44人(オンデマンド視聴回数 123回)

(ウ) 第3回

- a 配信期間 令和4年3月5日(土)～令和4年3月18日(金)
- b 内 容 「障がい者の人権について考える
～正しい判断のための正しい知識を学ぶ～」
- c 講 師 大胡田 誠 氏(おおごだ法律事務所代表)
前田 晃秀 氏(東京都盲ろう者支援センター長)
- d 参加人数 31人(オンデマンド視聴回数 96回)

エ 盲ろう者通訳・介助員頸肩腕障害健診

神奈川県盲ろう者通訳・介助員の内、令和2年度中に60回以上の派遣業務を担っている者を対象に健診を行った。

健診は、手話通訳者および要約筆記者を対象として実施している健診に加わった。

(ア) 対象者数 6人

(イ) 受診者数 5人

(ウ) 健診結果

区 分	人数
A 異常所見を認めません	3人
A2 有所見健康	2人
B1 要経過観察	0人
B2 経過観察中	0人
C1 要精密検査	0人
C2 治療中	0人

オ 相談事業

県内在住の盲ろう者本人とその家族や、盲ろう者とのコミュニケーションや支援などにお困りの方を対象とした相談支援を行う事業。

神奈川県横浜中合同庁舎の相談室は建物の老朽化により、令和3年1月から神奈川県横浜西合同庁舎6階に移転となった。10月より月2回、定期的に開所を開始した。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、まだ顔合わせの出来ていない登録の盲ろう者も複数いるが、訪問することで感染させてしまうリスクがあることから、緊急性の高い方のみ対応となった。

来所相談の内容は幅広いが、時刻を知るための時計や外出する時に使う白杖、伝達通信の機器を含む生活用品が多く、当事者が生活する上で様々な困難がある事を実感した。

相談室には、白杖や点字に関する機器、生活を便利にするグッズ等約90点を新たに揃え、必要に応じて関係機関につないだ。

利用者の要望により、神奈川県聴覚障害者福祉センター内に点字ブロックを設置した。

区分	件数
職業関係	72件
コミュニケーション関係	16件
対人関係	19件
生活関係	111件
福祉関係	31件
医療関係	15件
法律関係	0件
機器	65件
聴覚関係	3件
視覚関係	2件
派遣関係	141件
その他	243件
合計	718件

※新型コロナウイルス感染症対策に関するキャンセル 5件

(2) 遠隔手話通訳サービス事業

県より委託を受け、県内の県機関におよそ 400、医療関係機関におよそ 1,500、県内の 65 の警察署に 2 次元バーコード (QR コード) を配布し、神奈川県聴覚障害者福祉センターと結んで、県機関に来られた聴覚障がい者と窓口の職員との手話通訳や医療機関との手話通訳サービスを提供する事業を行った。

医療機関等においては、新型コロナウイルスの検査及び診察に関する手話通訳を行った。

また、県民意見反映手続きにおいて手話対応に係る翻訳業務を行った。

ア 遠隔手話通訳の実績

所 属	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
県機関	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
警察署	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
コロナウイルス診察	0	1	1	0	0	1	0	1	1	2	2	1	10
合 計	0	1	2	0	0	1	0	1	1	2	2	4	14

イ 県民意見反映手続きにおける手話対応に係る翻訳業務 件数 1 件

4 相模原市・横須賀市からの委託事業

障害者総合福祉法の施行に伴い、意思疎通支援事業において、手話通訳者及び要約筆記者の養成は都道府県及び政令市・中核市の必須事業と定められた。これに関して相模原市と横須賀市から手話通訳者の養成において当法人に委託があり、神奈川県聴覚障害者福祉センターの神奈川県手話通訳者養成講習会等に参加、受験する形で実施した。

また、相模原市から要約筆記者認定試験、横須賀市からパソコン要約筆記者養成について当法人に委託があり、神奈川県聴覚障害者福祉センターの神奈川県要約筆記者養成講習会等に参加、受験する形で実施した。

(1) 手話通訳者

ア 試験

試験項目	日程	相模原市			横須賀市		
		申込者	受験者	合格者	申込者	受験者	合格者
手話通訳者全国統一試験	令和3年12月4日	4	4	0	1	1	0
令和3年度神奈川県手話通訳者認定試験 (小論文・面接)	令和4年3月12日	0	0	0	1	1	1
令和2年度神奈川県手話通訳者認定試験 (小論文・面接)	令和3年4月11日	1	1	1	2	2	1
養成コース2021.【通訳Ⅱ・Ⅲ】 選考試験「聞き取り通訳試験」	令和3年11月13日	0	0	0	0	0	0
養成コース2022.【通訳Ⅰ】 選考試験「手話の読み取り試験」	令和3年12月14日	3	3	2	12	11	8
養成コース2022.【通訳Ⅰ】 選考試験「面接試験」	令和4年1月11日	2	2	2	8	8	4

イ 講習会

講習会項目	期間	相模原市		横須賀市	
		受講者	延人数	受講者	延人数
2020.【通訳Ⅰ】	令和3年4月14日～令和3年11月10日	0	0	0	0
2022.【通訳Ⅰ】	令和4年1月25日～令和4年3月22日	2	18	4	36
2019.【通訳Ⅱ・Ⅲ】	令和3年4月13日～令和3年11月30日	2	37	1	28
2021.【通訳Ⅱ・Ⅲ】	令和3年12月1日～令和4年3月23日	0	0	0	0

ウ 研 修

研修項目	日 程	相模原市	横須賀市
		人数	人数
令和 3 年度合格者研修	令和 4 年 3 月 26 日	0	1
令和 2 年度合格者研修	令和 3 年 5 月 16 日	1	1

エ 認 定

認定項目	相模原市	横須賀市
	人数	人数
令和 3 年度神奈川県認定手話通訳者	0	1
令和 2 年度神奈川県認定手話通訳者	1	1

(2) 要約筆記者

ア 試 験

項 目	期 日	申込者数	受験者数	合格者数
令和 2 年度神奈川県要約筆記者認定試験	令 3.8.20 令 3.8.27 令 3.9.3	相模原市 7 人	相模原市 5 人	相模原市 4 人

イ 講 習 会

項 目	期 間	受講人数	延受講人数
令和 3 年度神奈川県要約筆記者養成講習会 パソコン要約筆記クラス	令 3.10.1～ 令 4.3.25	横須賀市 2 人	横須賀市 48 人

ウ 認 定

項 目	相模原市
令和 2 年度神奈川県要約筆記者認定試験パソコン要約筆記者	4 人

5 その他の事業

(1) 手話通訳者・要約筆記者研修

ア 手話通訳者研修会

新型コロナウイルス感染拡大により、全ての研修を参集型とオンデマンド型によるオンライン配信の併用で開催をした。第 3 回は昨年度に実施した際のアンケートに再度開催を希望する声が多かったことと実技研修ではあったが講義部分の講義の時間も多かったため、改めて実技を中心とした研修として開催した。オンデマンド型によるオンライン配信の研修は受講者の都合に合わせて受講が出来ることから多くの通訳者に参加していただけた。

(ア) 第1回(参集型及びオンラン型の併用)

- a 日 時 令和3年7月11日(日) 13:30~16:30
- b 会 場 神奈川県聴覚障害者福祉センター 大講習室
- c 内 容 実技研修「オンライン会議システム Zoom の使い方」
- d 講 師 神奈川県手話通訳者 守橋 幸男 氏
- e 配信期間 令和3年7月21日(水)~7月27日(火)
- f 参加人数 会場参加 35人
オンライン参加 71人

(イ) 第2回(参集型及びオンラン型の併用)

- a 日 時 令和3年11月28日(日) 13:30~15:30
- b 会 場 神奈川県聴覚障害者福祉センター 大講習室
- c 内 容 「聞きやすい日本語・声の出し方&メンタルコントロール」
- d 講 師 フリーアナウンサー、障がいのアナ代表 小川 優 氏
- e 配信期間 令和3年12月8日(水)~12月14日(火)
- f 参加人数 会場参加 32人
オンライン参加 48人

(ウ) 第3回(参集型及びオンラン型の併用)

- a 日 時 令和4年1月23日(日) 13:30~15:30
- b 会 場 神奈川県聴覚障害者福祉センター 大講習室
- c 内 容 「テレビ画面での手話通訳技術について」
- d 講 師 国立障害者リハビリテーションセンター学院
手話通訳学科 教官 江原 こう平 氏
- e 配信期間 令和4年1月29日(土)~2月4日(金)
- f 参加人数 会場参加 12人
オンライン参加 54人

イ 要約筆記者研修会

新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が長引いている中ではあったが、感染防止対策を講じながらの参集型とオンライン型オンデマンド研修の2回を開催した。2回目の研修は、配信期間が短かったため、申込者は多かったが、実際に研修を完了できた人は少なかった。

(ア) 第1回(参集型:神奈川県要約筆記協会と共催)

- a 日 時 令和3年6月29日(火)
- b 会 場 神奈川県聴覚障害者福祉センター 大講習室
- c 内 容 「目指せ!役立つ補助の技」
- d 講 師 神奈川県要約筆記協会 宇都木 由美子 氏、富永 恭子 氏

- e 参加人数 25人
- (イ) 第2回 (オンライン型)
 - a 配信期間 令和4年3月3日(木)～令和4年3月17日(木)
 - b 内 容 実技A「義務教育における情報保障について」
講師 下島 かほる 氏
実技B「親子のかかわり」
講師 佐藤 昭二 氏
 - c 参加人数 22人 (手書き7人、パソコン15人)

(2) コピー機、印刷機の貸し出し

利用者の利便を図るため、ロビーにコピー機 (コイン式)、印刷機を設置した。

印刷機利用件数 36件

6 関係団体・機関との連絡調整、会議等

(1) 神奈川県盲ろう者支援センター事業連絡会

事業の充実化を図るため、当事者団体の神奈川県盲ろう者ゆりの会および神奈川通訳・介助員の会と派遣事業及び養成講習会、現任研修の意見交換、情報交換等を行なった。

回 数 4回

構成団体 神奈川県盲ろう者ゆりの会
神奈川通訳・介助員の会
当協会

7 会 議

(1) 職員会議

会議名	回数	主な協議内容
本部事業課会議	10回	本部事業の実施等に関する情報共有及び課題検討等

(2) 専門事業別会議

会 議 名	回数	主な協議内容
盲ろう者ケース会議	11回	相談、支援ケースの処遇、対応等についての協議検討
盲ろう者通訳・介助員派遣会議	8回	盲ろう者通訳・介助員に共通する課題の検討及び研修等の事業調整、情報共有、相互支援の調整等

